

競技上の注意

1. 選手の集合時間

試合開始予定時刻の30分前（第1試合）、または前試合の4回終了まで（第2試合以降）に、当該球場に集合を完了する。

2. 打順表の記入と提出

(1) 試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時までに、あらかじめ配布された打順表（5枚1組）に全選手の必要事項を記入し、必ずフルネームでフリガナを付けて当該球場本部に提出する。（打順表には控え選手も記入する）

(2) 打順表は、審判員および記録員が照合確認の上、交付する。

(3) 打順表用紙は、監督会議で配布したものを使用する。勝利チームは、試合終了後、記録員席で次試合分を受け取る。

3. 攻守の決定

打順表提出時に審判員による「コイントス」で決定する。コインの裏表の選択は、先着（打順表提出）のチームに優先権を与える。

4. 競技者のベンチ入り

(1) 組み合わせ表の番号の若いチームを1塁側とする。

(2) ベンチ入りの人数は、参加申込書に記載されている者、及び選手25名以内とする。

5. フィールドイング

(1) ベンチ入りが許されているユニフォーム着用のメンバーのみで行う。

(2) 後攻チームから5分間とし、審判員の指示に従うこと。なお、大会運営の都合により時間を短縮するか省くことがある。

6. 競技用具の確認・・・感染拡大防止のため手袋にて実施する

(1) バットは、試合開始前にバットゲージにより確認を受ける。（規格以外および危険と思われるバットは、試合が終了するまで当該球場審判員席で預かり、試合終了後に返却する。）

(2) ヘルメットは、検定品（両耳当てのあるもの）を使用することとし、亀裂や破損などがなければ確認を受ける。

7. 試合の開始

(1) 「集合」の合図で自チームのベンチ前に横一列に整列する。

(2) 「試合開始の礼」の合図と同時に、その場で礼をする。。

8. 攻守の交代、選手の交代

(1) すべて駆け足で迅速に交代する。

(2) 選手の交代は、監督が球審に通告すること。特に、DPが守備、FPが打撃を「兼ねる」時や「解除する」時は、監督が速やかに球審に申し出る。

9. 攻守交代の時の試合球

(1) 特に指示のない場合は、ピッチャープレートの近くに置く。

(2) 試合が終了した時は、審判員に渡す。

10. 荒天の時の連絡

- (1) 試合が不可能な場合は、大会本部から各チームに連絡する。
- (2) 当日の試合を行わない場合と、天候やグラウンドの回復状況により試合を行う場合とがあるの
で、大会本部からの連絡に注意する。

11. 競技規則

- (1) 2021年度オフィシャルソフトボール・ルールによる。ただし、特別事項は、監督会議で決める。
- (2) 7回終了時、同点の場合は、8回よりタイブレークにて勝敗を決定する。
- (3) いずれの種別も90分を超えて新しいイニングに入らない。
その時点で同点の場合は次のイニングからタイブレークとする
但しタイブレークは2イニングまでとし、なおも同点の場合は抽選により勝敗を決定する。

12. 参加資格

- (1) 令和3年度（公財）日本ソフトボール協会に登録されたチームで各県協会から推薦されたチームとする。
- (2) 監督・コーチの中で、次の①～⑤のいずれかの資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者（監督代行になり得る者）がいなければならない。
①コーチ1・②コーチ2・③コーチ3・④コーチ4・⑤公認準指導員

13. 抗議

試合中、抗議できるのは、監督（代行を含む）だけである。

14. 表彰式

競技終了後に行う。

15. その他

- (1) 試合中の傷害については、応急処置はするが、それ以外はチームまたは各自で対応すること。
- (2) 試合開始前（ベンチ入り後）の練習は、ファウルエリアで行うこと。この場合は、キャッチボールおよび投球練習程度に限る。
- (3) ベンチに入ることを許された者は、試合中に競技に携わる時以外はベンチから出てはならない。

16. 大会本部（大会当日連絡先）

可児市ソフトボール協会 事務局長 山本 直久（携帯090-4861-1500）